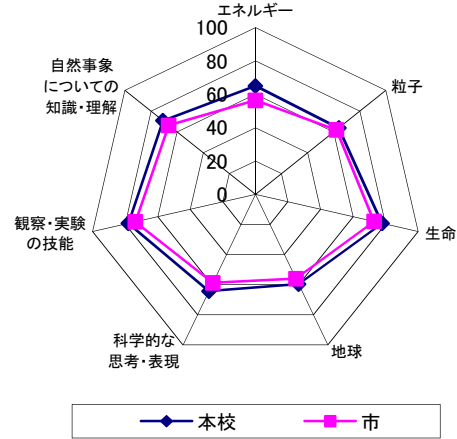


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	65.0	56.4	49.9
	粒子	63.9	62.0	57.4
	生命	77.8	72.9	67.1
	地球	59.6	56.0	48.5
観点別	科学的な思考・表現	64.3	58.8	52.1
	観察・実験の技能	78.1	73.8	67.6
	自然事象についての知識・理解	70.9	66.5	61.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○全体的に高い正答率を示し、市の平均正答率を8.6ポイント上回る結果となった。 ●「電流の性質」という問いの正答率は校内52.3であり、市平均43.0よりは高いものの、他の分野よりも正答率が低くなっている。	・エネルギー分野では、「電気」を苦手とする生徒が多い。オームの法則やフレミングの左手の法則など、公式や法則などをくり返し演習させ、実験を通して理解を深めさせる。 ・身近な自然現象について、検証したり、推論する練習をしていく。
粒子	○全体的に高い正答率を示し、市の平均正答率を1.9ポイント上回る結果となった。 ●「水溶液とイオン」という問いの正答率は校内63.5であり、市平均64.2より低く、他の分野よりも正答率が低くなっている。	・実験のねらいを理解させ、グループ内で実験結果を説明し合ったり、考察したりする学び合う場面を設ける。 ・物質分野では、生徒の興味関心を喚起できるような実験をとり入れ、物質の性質を理解させる。 ・グラフを読み取る練習を繰り返し行い、理解を深める。
生命	○全体的に高い正答率を示し、市の平均正答率を4.9ポイント上回る結果となった。 ●「生物の成長と生殖」という問いの正答率は校内78.4であり、市平均76.7よりは高いものの、他の分野よりも正答率の差がない。	・生命分野は、1年で学習する植物、2年で学習する動物と体のしくみ、3年で学習する生命の連続性と内容が繋がっていくように、系統だてて指導していく。
地球	○全体的に高い正答率を示し、市の平均正答率を3.6ポイント上回る結果となった。 ●「火山活動と火成岩」という問いの正答率は校内54.9であり、市平均53.2よりは高いものの、他の分野よりも正答率が低くなっている。	・イメージをつかむのが難しい内容もあるので、デジタル教科書や映像資料を活用し、理解を深めさせる。 ・地球分野は、1年で学習する「火山活動や地震」に苦手意識をもつ生徒が多い。観測データを分析する力を身につけさせる。

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの